

SYDかわらばん

＜最新活動情報 No.117＞ 2018 年 4 月 20 日号

公益財団法人修養団「平成30年度基本方針」 人と人をつなぎ、世代をつないで “みんなでまこう！ 幸せの種”

昨年度は、世界各地でテロが多発し、たくさんの人たちが犠牲になりました。また、北朝鮮による核実験や度重なるミサイル発射は、私たちにとって身近な不安となっています。

国内では、少子高齢化や情報化が進み、家庭や職場・地域での人間関係の希薄化や経済格差が大きな課題となっています。また、経済界では幾つもの企業が品質管理等のデータ改ざんをおこない、社会の信頼を大きく裏切ることになり、生き方や働き方の見直しが求められています。

このように寛容性が失われ、分断や対立、信頼感の喪失が見られる内外の状況にお

いて、修養団は「総親和・総努力・総幸福」の理念を高く掲げ、一人ひとりの幸せとともに、みんなが幸せになる社会の実現を目指してまいります。

そのために、全国の会員およびクラブ・連合会との連携をより深め、学校や諸団体・機関の協力を得ながら、家族や職場・地域の人と人をつなぎ、世代をつないで、「愛と汗」を基本とした“幸せの種まき運動”を積極的に推進します。そして、「こんにちは！」という“ふれあいの種”、「どうぞ！」という“思いやりの種”、「ありがとう！」という“よろこびの種”を身近なところからまき、一輪でも多く笑顔の花を咲かせていきます。

主催事業・活動等

《 》内は派遣者

報 告

3/17～18 「子ども週末WAKU×2ひろば」
(北九州)59人〔福岡県北九州市・市立玄海青年の家〕

《板倉和也》

テーマは「新聞紙タワーを作ろう!」。参加した子どもたちは、1回目のタワーづくりではなかなか高く立てることができず苦勞した。

その後おこなわれたミニゲームで、リーダーと一緒に課題に取り組み、タワーを補強する輪ゴムやクリップ、トイレトペーパーの芯などを獲得した。

2回目のタワーづくりでは、ミニゲームで得

た材料を使い、多くのグループで1回目よりも高くタワーを作ることができ、多いに盛り上がった。



3/25～29…「冬期子ども自然体験(スキー)

キャンプ」56人〔福島県北塩原村・ばんだいふれあいぴあ、グランデコスノーリゾート〕《高橋源一郎、鈴木幸、武藤真希、青木富造、板倉和也、谷野渉》



参加者は雪上運動会や、グループに分かれての雪像作りに取り組んだ。

このほか、武藤真希さん(川口市立川口総合高等学校教諭)によるサイエンスショーでは静電気の実験や、遺伝子モデルをカラービーズで模したストラップ作りがおこなわれた。また、ナイトハイクでは焼きマシュマロ作りを体験した。



グランデコスノーリゾートでのスキープログラムは、天候に恵まれた反面、春の日差しが強く、雪が水分を多く含んで滑りにくかったものの、参加者は怪我もなく、大自然の中で楽しいひとときを過ごした。



3/30～4/4…「全国青年ボランティア・アクションin福島」32人〔ばんだいふれあいぴあ、喜多方市、会津若松市、宮城県名取市(被災地仮設住宅)ほか〕

《遠藤信幸、高橋源右衛門、山崎一紀、青木富造、岩佐加寿子、山口千恵子、板倉和也、谷野渉》



北海道から沖縄県までさまざまな地域から集まった参加者は、ばんだいふれあいぴあで車いす介助などの体験学習をおこなった。その後、宮城県石巻市・南境第7団地(仮設住宅)でのボランティア活動を実施。住民の方々との交流活動のほか、食事提供をおこなった。



一行は福島県に戻り、喜多方市の高齢者生活福祉センター「しゃくなげホーム」にて、利用者の方々と昼食やレクリエーションを通して交流したほか、館内の清掃と館外の雪かきなどを実施。また、沖縄県からの参加者が「エイサー」を披露し、ダイナミックなパフォーマンスで利用者らを喜ばせた。

一連のボランティア活動終了後は、喜多方に伝わるそば打ち体験や、修養団創立者・蓮沼門三の生誕地「愛汗苑」および生家・高橋家を訪問。会津若松市では鶴ヶ城や日新館、飯盛山を散策するなど、会津地域の文化や歴史に触れた。



※以下、詳細次号

4/10～13…第1188回「みがく講習会」36人
〔三重県伊勢市・伊勢青少年研修センター〕《武田数宏、寺岡賢、山崎政弘、中山貴生、斎田聖生、竹本英美、亀田希奈里》

4/11～13…「新入社員セミナー」77人〔福島県猪苗代町・レイクサイド磐光〕《白石高司、木下茂美、山崎一紀、根岸秋吉、志村和也、谷野渉》

予 定

**4/28～30…第1回「東日本大震災被災地訪問
青少年ふれあいボランティア」**〔宮城県石巻市・新沼田第2復興住宅ほか〕
《青木富造、板倉和也、谷野渉》

5/3～5…「青少年活動(キャンプ)担当者会議」
〔福島県・ばんだいふれあいぴあ〕
《青木富造、板倉和也、谷野渉》

5/17…「修養団理事会」〔東京都・SYD会議室〕

5/18…第83回「青年ボランティアゼミナール」
〔東京都・SYD会議室〕

**5/21～25…伊勢青少年研修センター「皇居
勤労奉仕」**〔東京都千代田区・皇居ほか〕
《寺岡賢、山崎政弘、亀田希奈里》

**5/26～27…第1回「親子で楽しむ漁業体験in
狐崎」**〔宮城県石巻市・狐崎漁村センター〕
《根岸秋吉、保坂正志、志村和也》

6/1…「修養団評議員会」〔東京都・SYD会議室〕

6/2…第7回「全国修養団運動推進会議」
〔東京都・SYDホール〕

内 容

- (1)平成29年度事業報告・平成30年度事業計画の概要について
- (2)分科会協議

出席者

主な連合会・クラブの代表者またはそれに準ずる方 35人

東日本大震災被災地訪問 青少年ふれあいボランティア

平成30年度の日程が決まりました！

期 日

- 第1回 4月28日(土)～30日(月・祝)
- 第2回 7月14日(土)～16日(月・祝)
- 第3回 8月29日(水)～31日(金)
- 第4回 9月22日(土)～24日(月・振休)
- 第5回 11月23日(金・祝)～25日(日)
- 第6回 1月12日(土)～14日(月・祝)

※現地の都合により中止・変更する場合があります。

開催地

活動先：震災復興住宅等
(宮城県石巻市・名取市を予定)
活動拠点：ばんだいふれあいぴあ
(福島県北塩原村)

活動内容

仮設住宅を訪問して食事等を提供し、住民のみなさんと交流します。
※メニューはカレーライス、トン汁、焼きそばなど。
他にコーヒーや日本茶、お菓子を提供。

募集対象＜複数回同時申込可＞※原則先着順

参加者：各回18人(被災者のために思って行動できる中学生および高校生)

※初めての方、生徒会やボランティア部の方を優先します。

リーダー：各回3人(大学生等、18歳以上の青年で参加者のお世話のできる人)

問合せ先

SYD青年部「東日本大震災被災地訪問
青少年ふれあいボランティア」係

会員組織の主な動き

《 》内は派遣者

報 告

3/6…修養団山都愛汗の会「ひまわり会員に卒業・修業のお祝い贈呈」



喜多方市山都町の小・中学校に在籍し、修養団キャンプに参加した「ひまわり会員」43人に記念品を贈り、卒業と修業を祝った。

※写真は山都小学校 (発信・佐藤喜久司)

3/24…修養団TBSクラブ「千駄ヶ谷地区美化清掃」10人〔東京都渋谷区・SYDビル周辺〕



修養団SYDビルからJR千駄ヶ谷駅までの高速道路沿いの歩道を清掃した。

3/25…修養団寄居クラブ「さわやか家庭く共育」講演会」34人〔埼玉県寄居町・寄居町男衾コミュニティセンター〕 (武田数宏、保坂正志)



保坂正志SYD講師が「幸せの種まき運動」について説明し、武田数宏SYD講師が「今をいきいき」と題し講演をおこなった。

予 定

4/22…修養団新潟県連合会「定期理事会並びに役員総会」〔新潟県新潟市・新潟東映ホテル〕 (山崎一紀、保坂正志)

4/22…修養団広島県連合会「総会」〔広島県坂町・特別養護老人ホームたかね荘こやうら〕

《根岸秋吉》

5/19…SYDボランティア友の会「平成30年度総会」〔東京都・SYD会議室〕 (久世郁夫)

情報あれこれ

⊕SYD東京の親睦会



4月7日(土)、SYDの諸活動に参加する東京近郊の青年グループ「SYD東京」が「春の幸せいっぱい桜祭り」と称し、SYDビル16階会員ルームで親睦会を実施。当日は子どもを含めた28人が参加し、新宿御苑の桜を上から眺めた他、会場に飾られた色紙の桜を楽しんだ。

年度始めにあたり、今年の目標をみんなに聞いて寄せ書きしたり、ホットケーキを焼いて食べたほか、歌を歌ったり、持ち寄った食事を囲みながら懇親を深めた。

SYD本部から市島寿里職員、板倉和也講師補、谷野渉講師補が参加。

辞令(4月1日付)

職員の採用

島田 透 講師研修生

契約職員の採用

中田 由夏 総務部勤務

役職員の異動

青木 富造 青年部部长を解き 青年部担当を委嘱する

山口千恵子 青年部部长を命ずる

中山 貴生 講師補を命ずる

<発行・連絡先>

SYD(公益財団法人修養団) 社会教育部
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-25-2
☎03(3405)5441 FAX03(3405)5424
E-mail : info@syd.or.jp
ホームページ : https://syd.or.jp

SYD

検索